

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果について（概況）

平成26年4月に市立の全小・中学校において全国学力・学習状況調査を実施した。調査の概況は以下のとおりである。

1 実施学年・調査内容

◇ 実施学年 市立の全小学校 第6学年 市立の全中学校 第3学年

◇ 検査内容

①教科に関する調査 小学校…国語・算数 中学校…国語・数学

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査日 平成26年4月22日（火）

3 結果の概況

小学校 ・ 「知識」に関する問題、「活用」に関する問題とも、全国平均正答率を下回っている。全国平均正答率を100%として経年比較すると、国語Bと算数Aは全国平均正答率に近づいている。国語Aはやや下降傾向、算数Bは一進一退の傾向にある。

中学校 ・ 「知識」に関する問題、「活用」に関する問題とも、全国平均正答率を下回っている。全国平均正答率を100%として経年比較すると、国語Aは同程度で推移し、国語Bは今年度下降し、数学A、Bは一進一退の傾向にある。

①教科に関する調査（国語，算数・数学）

○小学校6年

| | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 26年度本市平均正答率 | 69.1 | 52.6 | 76.2 | 55.4 |
| 26年度全国平均正答率 | 72.9 | 55.5 | 78.1 | 58.2 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -3.8 (94.8%) | -2.9 (94.8%) | -1.9 (97.6%) | -2.8 (95.2%) |
| 25年度本市平均正答率 | 60.3 | 46.3 | 74.6 | 56.5 |
| 25年度全国平均正答率 | 62.7 | 49.4 | 77.2 | 58.4 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -2.4 (96.2%) | -3.1 (93.7%) | -2.6 (96.6%) | -1.9 (96.7%) |
| 24年度本市平均正答率 | 79.4 | 52.2 | 70.4 | 56.1 |
| 24年度全国平均正答率 | 81.6 | 55.6 | 73.3 | 58.9 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -2.2 (97.3%) | -3.4 (93.9%) | -2.9 (96.0%) | -2.8 (95.2%) |

○中学校3年

| | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 26年度本市平均正答率 | 77.2 | 47.6 | 62.4 | 54.4 |
| 26年度全国平均正答率 | 79.4 | 51.0 | 67.4 | 59.8 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -2.2 (97.2%) | -3.4 (93.3%) | -5.0 (92.6%) | -5.4 (91.0%) |
| 25年度本市平均正答率 | 74.7 | 65.0 | 60.3 | 38.2 |
| 25年度全国平均正答率 | 76.4 | 67.4 | 63.7 | 41.5 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -1.7 (97.8%) | -2.4 (96.4%) | -3.4 (94.7%) | -3.3 (92.0%) |
| 24年度本市平均正答率 | 73.5 | 61.1 | 58.6 | 43.8 |
| 24年度全国平均正答率 | 75.1 | 63.3 | 62.1 | 49.3 |
| 全国平均正答率との差と割合 | -1.6 (97.9%) | -2.2 (96.5%) | -3.5 (94.4%) | -5.5 (88.8%) |

※ Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題である。

※ 全国平均正答率は、平均正答数を百分率で表示したもの（平均正答数／設問数）であり、全国（公立）の数値である。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

（児童生徒の生活習慣や学習環境、学校における教育条件の整備状況等、及びそれらと学力との相関関係） ※ 結果を分析中